The Chiba University Library Bulletin ISSN 0388－2233

千葉大学附属図書館報

図書館の本

№７６　２０００.１２

平成12年度附属図書館展示会開催　1
「古医書コレクション整理と課題」　3
「本草書とさく葉標本の中で思うこと」　5
展示会を終わって　6
ライブラリートピックス　7
教員からの寄贈著書　8
行事日誌　１０

平成12年度千葉大学附属図書館展示会開催

東洋医学と西洋医学の出会い　～古医書と本草～

亥鼻古書コレクション目録中間版刊行記念

平成12年10月23日(月)から11月４日(土)までの期間，標記の展示会を開催しました。

主な展示品として，亥鼻分館の古医書コレクションから，わが国初の人体解剖書，山脇東洋の『藏志』，杉田玄白の『蘭学事始』，杉田玄白の『解体新書』を大槻玄沢が重訂をした『重訂解体新書』，わが国で最も古い歴史を持つ麻島流眼科の『麻島流眼科秘伝』などの古医書のほか，千葉家より寄贈された貴重な『経

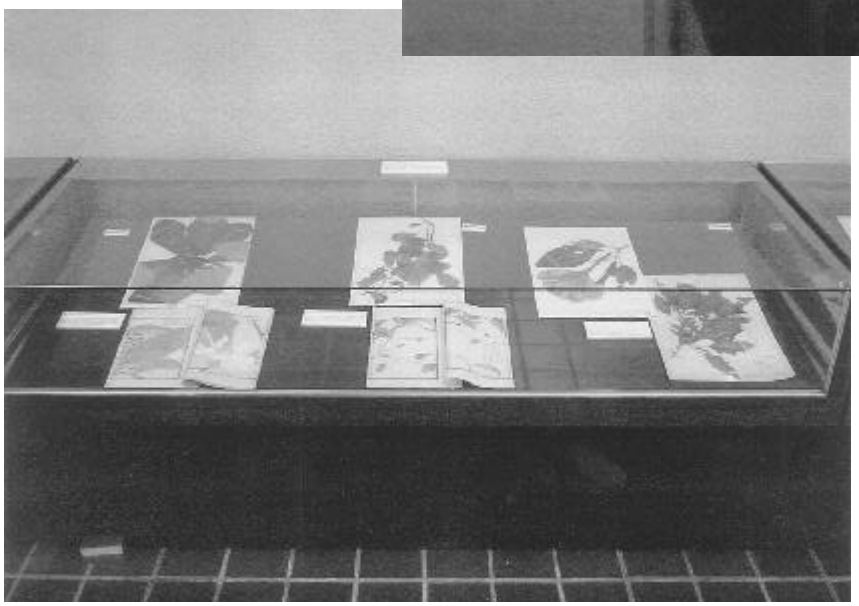
絡人形』（教育用人体模型）。薬学部の本草コレクションから，小野蘭山の私家版で蘭山先生の肖像がある『重訂本草綱目啓蒙』などの本草書に加え，薬学部の創設当時（明治23年）から保存されている手書きの色彩が美しい『本草図譜』ならびに『萩庭さく葉標本』の一部を展示しました。

また，展示会場にパソコンを設置し，展示品の拡大画像，修復作業のため展示できなかったポンペのサイン本や『萩庭さく葉標本データベース』などを電子展示するとともに，ほぼ同じ内容のものをWWWで公開しました。

これに加えて，10月30日(月)には，西千葉本館４階ライブラリーホールにおいて，元千葉県立中央博物館歴史科長，日本医史学会評議員の樋口誠太郎氏による『古書コレクション目録中間版の刊行に寄せて』，本学薬学部の池上文雄助教授による『薬学部所蔵本草書目と萩庭さく葉標本データベース』の講演会を開催しました。

なお，上記のWWWで公開した内容，展示会の模様については下記のＵＲＬをご覧ください。

http : //www2. ll. chiba-u. ac. jp/~san/exhibit/effect. html



千葉大学附属図書館亥鼻分館古医書コレクション整理と課題

元千葉県立中央博物館歴史学研究科長　樋　口　誠太郎

１．はじめに

千葉大学附属図書館亥鼻分館に所蔵されている貴重な古医書コレクションの整理作業に私が従事するようになったのは，平成５年からのことであった。

これは下の表１に示すように，千葉医科大学の伊東弥恵治先生が大正８年から千葉医科大学に東洋医学研究所を設置しようと企図され眼科学教室で購入，収集されたり，これを知って寄贈されたものなどで約6,000冊以上の図書が現存している。

２．古医書コレクションの内容

千葉大学で購入，収集された古医書が大正８年以来，関東大震災と今次の太平洋戦争下の千葉空襲などの被害にもあわず保存され続け，それだけ貴重なものが現在残されている。

亥鼻分館に，このような多くの古医書が集められたのは，伊藤先生の医史学研究への関心が中心にあったからで，それに加えて昭和15年～20年まで，戦争のため洋書購入ができず，その購入費を古書購入にあてることができたためと言われている。

また一方太平洋戦争の末期に「本土決戦」が叫ばれ房総は九十九里浜がアメリカ軍の上陸地だと言われるようになり，茂原で代々眼科医を開業しておられた千葉弥次馬氏のように長年伝えられた医書をアメリカ軍が上陸してきたら焼失してしまうかも知れないと心配され，995冊を昭和20年に寄贈されている。

なお昭和25年に佐倉順天堂病院長，佐藤恒二博士（1878～1952）から，その蔵書の一部で幕末の西洋医学の和訳書322冊，幕末の洋書77冊の寄贈を受けている。順天堂蔵書というと県立佐倉高等学校か，東京御茶ノ水の順天堂大学医学部ぐらいにしか無いと思われているが，亥鼻分館にもかなり貴重な図書が入っていることをここに記しておきたい。

この他に，江戸時代末期に牛痘種法の普及に貢献した広島の医家三宅春齢の令孫三宅しづ氏から寄贈された三宅春齢の著書などもある。

一方医書の面から見ると，筆写本もあるが，我が国のものでは『大同類聚方』，栄西の『喫茶養生記』，惟宗時俊の『医家千字文』，梶原性全の『万安方』，月湖の『全九集』，曲直瀬道三の『医学天正記』，曲直瀬玄朔の『医法明鑑』，香月啓益の『婦人寿草』，山脇東洋の『藏志』，河口信任の『解屍篇』，吉益東洞の『医断』，杉田玄白の『解体新書』，この改訂版としての大槻玄沢の『重訂解体新書』，三谷公器の『解体発蒙』，杉田玄白の『蘭学事始』，宇田川榛斎の『和蘭薬鏡』，『和蘭内景医範提綱』，緒方洪庵の『扶氏経験遺訓』，伊良子光顕の『外科訓蒙図彙』，眼科書としては衣関順庵の『眼目明弁』，杉田立卿の『眼科新書』等々当時どのような医書が尊重されていたか，一目で判る。

３．医史料の保存について

亥鼻分館に所蔵されている膨大な，そして貴重な「医史料」をどのようにするかは今後の大きな課題である。日本医史学会の機関誌『日本医史学雑誌』第45巻特集号（平成11年12月30日発行）では「日本における医史料の蒐集と保存について」というテーマでその現状，提言がされている。その中で蒲原宏理事長のことばの中に,「医学の歴史研究そのものが，医学に於ける他の分野の研究と異なり，その成果はほとんど全てが抽象知の生産のみで,具体的に即効性も即物性もなく,目にはっきりと見えぬものばかりである。医史料への無関心の根元がそこにある。過去の歴史をしることは未来を想定して現在を改善していくことであると思う。したがって，その研究の基礎となる書籍 ── 刊本，写本であろうと，ほとんど医学発展の残渣にしか見えぬものとして書庫に埋もれるか，廃棄されていたのが各医療機関，医学教育施設での実態であった。このままで推移すれば日本の医療関係の人々が営々として蓄積してきた知的遺産の原資料が消滅･風化してしまう（下略)」といわれている。

このことは，現に千葉大学附属図書館で実施していることと今後の方向づけに一つのヒントを与えてくれているのではないかと考えるし，それが大正８年以来，千葉大学の古医書収集にかかわった先生方の素志を生かすことであると考えている。

表１　古医書コレクションの構成（亥鼻分館亥鼻サービス係作成）

	収　集　区　分	点　　数	冊　　数	備　　考
和漢書	眼科学教室で購入	１，４０６	４，０８４	
	千葉家より寄贈	２０２	９９５	
	佐倉順天堂佐藤家より寄贈	１２１	３２２	
	三宅家(三宅春齢家)より寄贈	１０	１９	
	小　　計	１，７３９	５，４２０	
洋書	佐倉順天堂佐藤家より	５６	７７	
計		１，７９５	５，４９７	

表２　古医書コレクションの構成内容

分類	漢方	鍼灸	本草	薬物	洋　方 (蘭方)	その他	医書以外	計
数	５８５点	４０	７２	７４	３８６ (１５２)	１３８	２３３	１，５２８点

この外に漢籍２１１点，洋書５６点がある。

本草書とさく葉標本の中で思うこと

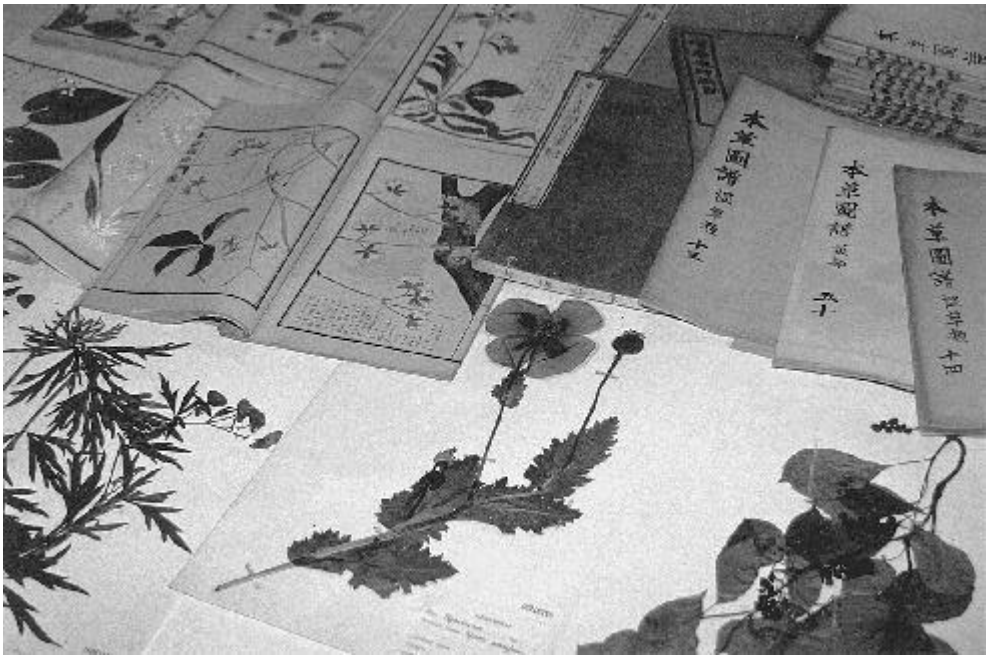
薬学部助教授　池　上　文　雄

日本の近代医学発展の歴史の扉を開けると，そこには日本古来の本草学と和蘭医学の接点が多くみられます。北総最大の藩の城下町としての歴史を持つ佐倉は，日本近代医学教育の発祥の地ですが，そんな佐倉に隣接する千葉市の亥鼻が丘に医学教育のメッカとして千葉大学医学部，薬学部の前身の県立千葉医学校や千葉医学専門学校薬学科が出来たのも歴史的に見て当然のような気がします。

薬学部創立110余年の歴史をなぞると，教育や研究に寄与してきたと思われる多くの薬学本草関係書や生薬標本等が出てきますが，それらは，現在，薬学部の標本資料室に保管されています。これらの本草書を繙いてみると，近代医学の中での東洋医学と西洋医学の流れにおいて，本草学の占めた役割は大きなものであっただろうと想像されます。また，それらを元に勉学された先人の気概，薬草に関する洞察とその芸術性に感嘆するものです。特に，『本草図譜』は天保元年（1830）から弘化元年（1844）にかけて岩崎灌園によって完結した96巻からなる約2,000種の植物の図説で，『本草綱目』の分類に従い，草から木について記載し，野生種ばかりでなく，園芸種に至るまで自ら写生し，美しい彩色図にしたものです。本学部に保管されているのは大正５～10年にかけて出版された復刻版ですが，大変貴重な蔵書であると思います。また，『重訂本草綱目啓蒙』は衆芳軒（小野蘭山）の私家版で，蘭山先生の肖像がある貴重なものです。その他，枚挙にいとまがありませんが，薬学の歴史の中でこれらの書物が果たしてきた役割を考えると，今後とも貴重な参考図書として保存していかなければならないと考えられます。

一方，標本資料室には，故萩庭丈壽千葉大学名誉教授（昭和25年６月～昭和57年３月まで薬学部に在職）が，その生涯をかけて沖縄，小笠原の各諸島を含む日本全国に植物採集のための足跡をしるされ，蒐集，作成された植物さく葉標本が合計約６万点ほど保管されています。日本全土の薬用植物を含む顕花植物の約95%を網羅し，この中にはすでに絶滅した植物も少なからず含まれており，質・量ともにわが国自生の顕花植物さく葉標本としては類を見ない貴重なものといえます。

３年前，薬学部学生・ＯＢらにより結成された「ゐのはな山岳会」会員の有志，薬学部同窓生有志および学部教職員（現，元）有志が集まって萩庭標本データベース作成協力会を結成し，故人畢生の標本の整理，保管とデータベースの作成作業を始めました。本年８月には中間報告としてデータ



ベースに収録されている標本数約42,000点を萩庭さく葉標本目録（全1,000ページ２分冊）として印刷・製本しました。この間，本さく葉標本の一部を，千葉大学創立50周年記念展示会に薬学部の貴重な資料として出展し，それが1999年11月２日の朝日新聞（夕刊）で報道されました。また，今年の薬友会報に特集記事として掲載され，千葉大学のみならず社会的にも萩庭標本の存在が認知されるようになりました。ご遺族から薬学部へ御寄贈されたこの貴重な萩庭標本がより有効に活用されるように，今後，残りの標本の整理，植物名等の現代仮名遣いへの変換，さらには稀品標本等の写真画像データベースと組み合わせてインターネットで公開，等が予定されています。

先生の遺された植物さく葉標本は，我が国における自生植物の生物資源，遺伝子資源さらには薬用資源の貴重なデータベースとして今後とも学術研究に大いに活用されるものと考えられます。

標本資料室は，本年５月に薬用植物園に隣接して開設されたものですが，内部に保管されているものは薬学部の歴史を感じさせる古いものばかりです。本草書，植物さく葉標本，生薬標本と，数万点に及ぶこれらのものは古くはありますが，科学の最先端を行く薬学部における基礎教育・研究には欠かせない貴重な資料であると思います。

自然破壊の進む地球環境の中で，絶滅に瀕する動植物が数多く存在しています。薬用植物もその例外ではありません。近年の情報科学の発展により，インターナショナル的に，しかも居ながらにして画面上でそれらを見ることが出来るようになりました。しかしながら，科学は実践が大切であることを考えると，一人でも多くの方が自然に親しんで生育している植物を自分の目で見るなり，標本資料室に出向いて本草書なりさく葉標本なりを実際に手に取って見ていただきたいと考えております。

展　示　会　を　終　わ　っ　て

２週間足らずの展示会でしたが，学生や教員の方，また学外のこの展示に興味をお持ちの方，まったくの通りがかりの方のご意見をたくさんいただきました。展示会の開催については不慣れではありましたが，皆様から寄せられた声をお聞きすると，また来年もより良い企画展示を目指したいという思いに駆られます。この展示会に寄せられたご意見･ご感想の一部をご紹介します。

・大学にこういうものがあったのに驚きました。展示されていた薬草も珍しいものや知っていたものもあり，昔から使われていたというのにびっくりでした。（学生）
・「蘭学事始」の原本をはじめてみる事ができ，有名な薬草の標本も多く知ることができて，大変感銘を受け，本企画のすばらしいことに感謝しています。今後も類似の企画がぜひありますように。（学外・市内）
・図書館に来てはじめて展示の存在を知った。これだけ内容の濃いものであるのだから，もっと学内レベルでも情報が周知されるように工夫されてはどうか？　パネルの説明文はもっと大きく印字してはどうか？（教員）
・大学博物館がないので頻繁にやって欲しい。（学生）
・普段，漢方薬等とは縁なく生活しているので新鮮でした。もしかしたら環境が複雑になってきている現在，こっちに注目したほうがかえってよいのでは？と思いました。少しずつ草花が減っていくにつれ，薬草も減少していると聞いて残念です。（学生）
・経絡人形の展示，電子展示，色の発色がいい植物学教授用の掛け軸，面白かったです。（学生）
・昔の教材を通して勉学の必死さが伝わってきた。こんな文字しかかけない自分が情けない。不便な時代の日本人はとっても優れていたと・・。人体模型を見れて感動しました。ありがとうございました。（学生）

・本草学，古医学の書籍，そしてその標本がともに展示してあるのを間近に見て，古の人々の思い（情熱）をひしひしと感じました。今の如く多く本が刷られていない当時，これらの本を大事にかつ，なめるように学んでいたのでしょう。（学生）
・蘭学のことをはじめ，歴史の授業では教わらなかったことが多くあり，とても勉強になった。日本の医学の歴史や薬となった草や花など，多くの人が研究したことも理解できた。今は遺伝子すら解明しようとする時代ではあるが，根本的な概念とか目標といったもの，意義は失われていないと感じた。また機会があれば拝見したい。（学外・県内）
・日本史の教科書で見た本がたくさんあった。こういうものを見ると自分が学問の府にいることを思い出す。いつの世も理系は華々しい。（学生）
・学内にある普段は見られない資料がこのように気軽に見られる機会がもっとあるといいな，と思います。学部別に対象をくむ，とか。（学生）
・手塚治虫の「陽だまりの樹」などに出てくる人々の著作を目にすることができて感無量です。江戸時代当時の医学教育，本草学教育を偲ぶことのできる品々が，ここまでよく保存されているのは三世紀にも及んで手にする人々が余程大切にしてきたことをはかり知ることができました。（学生）
・先人の熱い思いが伝わって参りました。学問の進歩を・・いろいろと－　萩庭先生のお仕事もすばらしいし，それを受け継ぎデータベースの仕事をなさっている方々もどうぞ頑張ってください。（学外・市内）

＜ライブラリートピックス＞

千葉大学附属図書館ホームページ，リニューアル

千葉大学附属図書館は，1994年に国立大学図書館としては一早くホームページを立ち上げ，1999年３月には館内職員によるデザインコンペを行い，リニューアルしました。

この度，前回同様デザインコンペを行い，より使いやすいホームページを目指してデザインを一新しました。詳しい使い方については，図書館に用意してある「Welcome to Chiba University Library's Home Page ：図書館ホームページへようこそ」のリーフレットをご覧下さい。

なお，今回は本館，亥鼻分館，園芸学部分館のホームページを統合し，全学共通で活用できるようにしましたので，分館のホームページを登録されている方は， http://www. ll. chiba-u. ac. jp/ へ変更をお願いします。

主な変更点は，以下の通りです。

・本・分館の情報が一目でわかるニュースと利用案内
・トップページからの電子情報への One-Point アクセス
・インタラクティブ機能（Web 申込み）の強化

外国雑誌利用頻度調査を行っています

2000年10月より2001年３月までの期間，基本的外国雑誌の利用頻度調査を行っています。

基本的外国雑誌は外国雑誌高騰の中で千葉大学内で不可欠の基本的な雑誌の購読を確保するために選定されたものです。３年目を迎える来年度にタイトルの見直しを予定しています。

その判断材料の一つとしての利用頻度調査です。ご協力をお願いします。

共通閲覧証が廃止されました

院生，教官等に今まで他の国立大学の利用の際に発行されていた共通閲覧証は今年度より廃止になり，所属大学の身分証で利用が可能となりました。

本館の大学紀要類を移動しました

今まで雑誌書庫３層に配架されていた各大学の紀要類を旧館３階北側の書架に移動しました。

また旧館雑誌書庫１層にあった法学・経済関係等の各大学内から発行されている論文誌も３階の同じ場所に移し，大学毎に配架してあります。

新旧配架場所に案内の掲示をしておりますが，ご利用の際はご注意下さい。

園芸学部分館開館時間の延長（試行）

学生アンケートにおいて開館時間延長の希望が多く寄せられました。今年度は試行的に下記の期間の閉館時刻を１時間繰り下げ21：00までとします。

・平成12年11月27日(月)～12月８日(金)［ただし、土・日を除く］
・平成13年１月29日(月)～２月９日(金)［ただし、土・日を除く］

教員からの寄贈著書（平成12年６月～12年９月配架分）

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

[本　館]

青木　浩子　（法経）
・国際証券取引と開示規制／青木浩子著．－東京大学出版会，2000
（本館閲覧室３階　338.16/KOK）

秋元　英一　（法経）
・米国におけるビジネス・カルチャー．－日本国際問題研究所，2000．－分担執筆
（本館書庫大型　335/BEI）

安達　惠美子　（医）
・老眼・白内障・緑内障／安達惠美子著．－新星出版社，[2000]
（本館閲覧室３階　496.3/ROU）

井上　義朗　（法経）
・エヴォルーショナリー・エコノミクス：批評的序説／井上義朗著．－有斐閣，1999
（本館閲覧室３階　331/EBO）

井上　良二　（法経）
・制度会計の論点／井上良二編著．－税務経理協会，2000
（本館閲覧室３階　336.9/SEI）

宇佐見　寛　（名誉教授）
・言語論理教育の探究／井上尚美編集代表．－東京書籍，2000．－分担執筆
（本館閲覧室３階　375.8/GEN）

大江　靖雄　（園芸）
・消費者と食料経済／黒柳俊雄編著．－中央経済社，2000．－分担執筆
（本館閲覧室３階　611.3/SHO）

佐藤　博信　（文）
・江戸湾をめぐる中世／佐藤博信著．－思文閣出版，2000
（本館閲覧室２階　210.4/EDO）

・千葉県の歴史／石井進，宇野俊一編．－[新版]．－山川出版社，2000．－分担執筆
（本館閲覧室２階　210.08/KE51）

建石　隆太郎　（環境リモートセンシング）
・Global environmental databases : present situation ; future directions／edited by Ryutaro Tateishi and David Hastings.－ISPRS WG IV/6，2000
（本館閲覧室３階　519.8/GLO）
・Degradation of the drylands of Asia ／ Nikokai Kharin,Ryutaro Tateishi and Hussein Harahsheh. － CEReS,Chiba University, 2000
（本館閲覧室３階　512.75/DEG）

土屋　俊　（文）
・情報倫理学：電子ネットワーク社会のエチカ／越智貢，土屋俊，水谷雅彦編．－ナカニシヤ出版，2000
（本館閲覧２階　150.4/JOU）

中窪　祐也　（法経）
・労働法ロールプレイング／野田進,中窪裕也著．－有斐閣，2000
（本館閲覧室３階　366.14/ROU）

中林　真幸　（法経）
・近代の経済構造／武田晴人，中林真幸編．－東京堂出版，2000
（本館閲覧室２階　210.08/TEN）

橋本　研也　（工）
・Surface acoustic wave devices in telecommunications : modelling and simulation ／ Ken-ya Hashimoto.－Springer, c2000
（本館閲覧室３階　547.5/SUR）

平野　義明　（理）
・ウミウシ学 ： 海の宝石，その謎を探る／平野義明著．－東海大学出版会，2000
（本館閲覧室３階　484.6/UMI）

若桑　みどり　（文）
・象徴としての女性像／若桑みどり著．－筑摩書房，2000
（本館閲覧室４階　702.3/SHO）
・イメージの歴史／若桑みどり著．放送大学教育振興会，2000
（本館閲覧室４階　702/IME）

[亥鼻分館]
安達　惠美子　（医）
・老眼・白内障・緑内障／安達惠美子著．－新星出版社，[2000]
（亥鼻閲覧室　WW80）

大藤　正雄　（名誉教授）
・画像診断とがん治療／大藤正雄著．－ニュートンプレス，2000
（亥鼻閲覧室　QZ200）

張ヶ谷　健一　（医）
・イラスト病理学／A. D. T. Gavan ［ほか］著;秋間道夫 ［ほか］ 訳．－第３版．－文光堂，1997．－共訳
（亥鼻閲覧室　QZ4）
・エッセンシャル病理学／澤井高志［ほか］編．－第５版．－医歯薬出版,2000．－分担執筆
（亥鼻閲覧室　QZ4）

舟島　なをみ　（看護）
・看護学教育評価論／舟島なをみ，杉森みど里編著．－文光堂，2000
（亥鼻閲覧室　WY18）

森　千里　（医）
・よくわかる環境ホルモン学／シーア・コルボーン［ほか］共著．－環境新聞社，1998．－共著者
（亥鼻閲覧室　WA671）
・環境ホルモンと経済社会／企画・編集稲場紀久雄．－法律文化社，1999．－パネリスト
（亥鼻閲覧室 WA671）

山上　岩男　（医）
・手術で治る痴呆／山上岩男著．－日本図書刊行会，2000
（亥鼻閲覧室　WT155）

[園芸学部分館]
安達　惠美子　（医）
・老眼・白内障・緑内障／安達惠美子著．－新星出版社，[2000]
（園芸閲覧室 496.3/R）

大江　靖雄　（園）
・消費者と食料経済／黒柳俊雄編著．－中央経済社，2000．－分担執筆
（園芸閲覧室 611.3/S）

斎藤　修　（自然科学研究科）
・フードシステム学の世界：食と食料供給のパラダイム／高橋正郎編著．－農林統計協会，1997．－分担執筆
（園芸閲覧室 588.09/F）
・再編下の食料市場問題：生鮮食品を中心として／三國英實編著．－筑波書房，2000．－分担執筆
（園芸閲覧室 611.46/S）
・野菜のフードシステム：加工品需要の増加に伴う構造変動／高橋正郎編著．－農林統計協会，2000．－分担執筆
（園芸閲覧室 621.4/Y）

中山　敬一　（名誉教授）
・貰い集めた落穂／中山敬一著．－[松戸]：中山敬一教授退官記念事業会，2000
（園芸閲覧室 613/M）

吉田　義明　（園）
・現代資本主義と農業再編の課題／保志恂　[ほか] 編著．－御茶の水書房，1999．－分担執筆
（園芸閲覧室 611/G）

（50音順　敬称略）

行　事　日　誌　（平成12年７月～11月）

７月６日　平成12年度第２回附属図書館運営委員会，自己点検・評価委員会
７月７日　国公私立大学図書館協力委員会常任幹事会，国公私立大学図書館協力委員会（於：佛教大学）
７月19日　第２回資料選定委員会
９月８日　平成12年度情報アクセス特別委員会（於：東京大学）
９月22日　第46回千葉県大学図書館協議会（於：川村学園女子大学）
９月25日　将来構想検討委員会，外国雑誌検討委員会
10月５日　平成12年度第３回附属図書館運営委員会
10月12日　国公私立大学図書館協力委員会常任幹事会，国公私立大学図書館協力委員会（於：東京大学）
10月13日　平成12年度「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」第２回理事会（於：千葉センシティータワー）
11月９日　第３回資料選定委員会
11月15日　自然科学研究科との共同プロジェクト会議
11月28日　平成12年度情報アクセス特別委員会（於：京都大学）
11月29日　国立大学図書館協議会理事会（於：京都大学）

千葉大学附属図書館報　〔図書館の本〕　№76　平成12年12月12日発行
発　行　千葉大学附属図書館　〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１－33
Tel．043-251-1111(代)　Fax．043-290-2266　URL：http://www.ll.chiba-u.ac.jp/